

よりそ Side by Side

第30号

編集責任：筒井

編集担当者 早野・筒井・坂本

アンケート

問1. ボランティア活動は何回目ですか。

ア. 初めて 1.2回目 ウ. 3回目以上

問2. イ. ウのまごころネットはア. 初めて 1.2回目 ウ. 3回目以上

問3. 参加は次のどちら？

ア. 個人で イ. グループで

問4. どこから来ましたか。

問5. 交通手段は次のどれ？

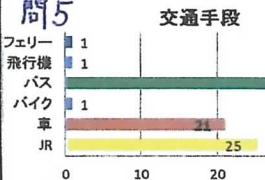
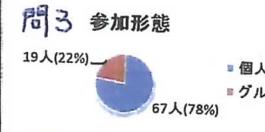
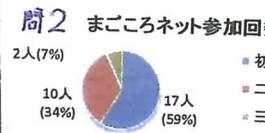
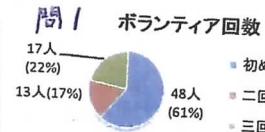
ア. JR イ. バス ウ. 車
エ. バイク オ. 飛行機 カ. フリー

参加は初めての方、そして個人で参加という方が多いですね。交通手段で行きはJR、帰りはバスという方がいて、表の人数はアンケートの回答者数をこえました。「どこから来ましたか」の答、編集部では「海外」の選択肢を用意していませんでした。モンゴル、ドイツ、ネリピンなどの方、九州を含むご訪問さんでした。関東が多いのはわかります。岡山12名の数は目立ちました。

問4

(回答者数 78人)

都道府県名	数
北海道	1
青森	1
秋田	3
茨城	2
新潟	1
石川	1
群馬	1
長野	2
埼玉	6
千葉	3
東京	15
神奈川	6
静岡	2
愛知	3
滋賀	1
京都	2
大阪	8
兵庫	2
岡山	12
広島	1
高知	1
福岡	1
熊本	2
国名	数
モンゴル	1
ドイツ	1
フィリピン	1



インタビュー

朝、5時前に目覚めロビーに行きました。早起きの人に対するインタビューしました。

①Nさん（京都から）
5月24日未明30日に帰ります。障害物のがれき撤去で、被害のすぐまさを知りました。マッサージ院にお手伝として行ったとき、これが最後のマッサージだなどと、おじいちゃんおばあちゃんがいました。

人から、「さびしいねー」と言われたことが心に残っています。

②N君（熊本から）
箱崎海岸に片付けに行きましたとき、被災家族の息子さんから20代の消防団員であった友人の話を聞きました。彼は、10数秒で逃げうことできら坂の下で活動していました。彼は最後までお年寄りの方を助けようと活動し続け、結果一緒に被災死したのが悲しかったそうです。

北海道江別市
K.I.
今日までやったことは、自己紹介、東日本と西日本に分かれての話し合い、ボランティアについて思つたことの表現などです。もちろん、アルコールをはじめての交流も。

*6/2 (木)ボランティアミーティングはPM15:30～④体育館
6/1 (水)の宿泊：15人、活動：

お知らせ

●現場の作業に出る時は、(まわりな所が多いため)、コートも持て行きましょう。

●ラーメン定食店 姉一龍
Sous-Ryu

遠野市松崎町白岩 15-48-1
0198 62 1232

「岩手県災害ボランティアセンター」のシール提示でチャーシュ2枚サービス。!(いつまでかは未定です)

ちょっと話そう会

毎晩 8時から9時前後まで、主に会議室で「ちょっと話そう会」が行われています。呼びかけ人は、もう去られた山口さんで、疑問点や感じたことなどを気軽に語せる機のつくりを求めました。会長の正木さんは、「山口さんに言われて引き受けました。気軽に他のをきいたり思つたことを話せる会にいればよいな」と思ひます。

できればチームワーク約ひとつのでき、交流時間の楽しさを味わうことができるればよいと思つています。

今までにやつたことは、自己紹介、東日本と西日本に分かれての話し合い、ボランティアについて思つたことの表現などです。もちろん、アルコールをはじめての交流も。